

過ヨウ素酸カリウム KIO_4 [過よう素酸カリウム (~~メタ過よう素酸カリウム~~), 特級 K 8249]

過ヨウ素酸ナトリウム試液, グリセリン用 メタ過ヨウ素酸ナトリウム 6 gを量り, あらかじめ硫酸 (3 → 1,000) 12mlを新たに煮沸し冷却した水 38mlに加えた液に加えて溶かし, 新たに煮沸し冷却した水を加えて 100mlとする。必要があればろ過する。

過ヨウ素酸 2水和物 $\text{HIO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ [過よう素酸 (2水和物), K 8284:1978]

本品は, 白色の潮解性の結晶である。

含量 98.5%以上

確認試験 本品の溶液に過剰の炭酸水素ナトリウムを加え, 更にヨウ化カリウム溶液を加えるとき, ヨウ素を遊離する。

純度試験 (1)他のハロゲン Clとして0.010%以下 本品 1.0gに水 100mlを加え, 過酸化水素 8 ml及びリン酸 1 mlを加え, ヨウ素の色が完全に消えるまで穏やかに煮沸する。冷後, 水で器壁を洗い, 過酸化水素 0.5mlを加え穏やかに 10分間加熱する。冷却し, 水で正確に 100mlとする。この液 20mlをとり, 硝酸 (1 → 3) 5 ml, 2 w/v%硝酸銀溶液 1mlを正確に量って加え 15 分間放置した液の濁度は, 塩化物イオン標準原液 1 mlを正確に量り水 100mlを加えて同様に操作したものの濁度を超えない。

(2)硫酸塩 SO_4 として0.010%以下 本品 1.0gを量り, 水 20ml, 10w/v%炭酸ナトリウム溶液 0.2ml及び塩酸 (2 → 3) 10mlを加え水浴上で蒸発乾固する。冷後, 水 10ml及び塩酸 (2 → 3) 5mlを加え, 水浴上で蒸発乾固する。ヨウ素の色が無くなるまで, この操作を繰り返す。塩酸 (2 → 3) 0.6mlと水を加えて正確に 50mlとする。この液 25mlを正確に量り, エタノール 3 ml及び 10w/v%塩化バリウム溶液 2 mlを加え, 一時間放置したものの濁度は, 比較液の濁度より濃くない。比較液は, 10w/v%炭酸ナトリウム溶液 0.1 mlに塩酸 (2 → 3) 8 mlを加え水浴上で蒸発乾固したものに, 塩酸 (2 → 3) 0.3ml及び硫酸イオン標準原液 0.5mlを正確に量って加え, 水を加えて正確に 25mlとし, エタノール 3 ml及び 10w/v%塩化バリウム溶液 2 mlを加え, 一時間放置する。

定量法 本品約 1 gを水に溶かして正確に 250mlとする。この液 25mlを正確に量り, ヨウ素ビンに入れ, 硫酸 (1 → 6) 5ml, 水 30ml及びヨウ化カリウム 3 gを加え, 直ちに密栓をして暗所に 15分間放置し, 遊離したヨウ素を 0.1mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液で滴定する (指示薬 デンプン試液)。別に空試験を行い補正する。

0.1mol/Lチオ硫酸ナトリウム溶液 1 ml = 2.8493mg $\text{HIO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$

ガラクトール $\text{C}_6\text{H}_{14}\text{O}_6$ 本品は, 白色の結晶又は結晶性の粉末である。

溶状 澄明 (1.0g, 水 30ml)

融点 188~189°C

水分 0.5%以下 (1.0g, 直接滴定)

強熱残分 0.10%以下 (2 g)

過硫酸アンモニウム ペルオキシ二硫酸アンモニウムを見よ。

カルボニル基除去メタノール メタノール，カルボニル基除去を見よ。

カロブピンガム 「カロブピンガム」

寒天 ~~(寒天 特級)~~ [K 8263]

カンフル $C_{10}H_{16}O$ 日本薬局方 *dl*-カンフルを用いる。

希塩酸 塩酸，希を見よ。

希酢酸 酢酸，希を見よ。

ギ酸 $HCOOH$ ~~(ギ酸 特級K 8264)~~

ギ酸エチル $HCOOC_2H_5$ 無色透明な液体で，特有なにおいがある。

含量 本品は，ギ酸エチル97%以上を含む。

屈折率 $n_D^{20} = 1.3595 \sim 1.3601$

比重 $d_4^{20} = 0.915 \sim 0.924$

沸点 $53 \sim 54^\circ C$

定量法 本品約5.0gを精密に量り，香料試験法中のけん化価及び酸価の試験を行い，次式により含量を求める。

けん化価－酸価

$$\text{ギ酸エチル (HCOOC}_2\text{H}_5\text{) の含量} = \frac{\text{けん化価} - \text{酸価}}{561.1} \times 74.08(\%)$$

ギ酸緩衝液 (pH2.5) ギ酸4mlを量り，水90mlを加え，アンモニア水でpH~~を~~2.5に調整した後，水を加えて1,000mlとする。

ギ酸ナトリウム $HCOONa$ ~~(ギ酸ナトリウム 特級K 8267)~~

希硝酸 硝酸，希を見よ。

キシレノールオレンジ $C_{31}H_{30}N_2Na_2O_{13}S$ ~~(キシレノールオレンジ) (特級) [K 9563]~~

キシレノールオレンジ試液 キシレノールオレンジ0.1gを量り，水を加えて溶かして100mlとする。

キシレン $C_6H_4(CH_3)_2$ ~~(1級)~~ [K 8271]

o-キシレン $C_6H_4(CH_3)_2$ 無色澄明の液体である。

屈折率 $n_D^{20} = 1.501 \sim 1.506$

比重 $d_4^{20} = 0.875 \sim 0.885$

蒸留試験 $143 \sim 146^\circ C$ ，95vol%以上。

キシレンシアノールFF ~~(特級)~~ [K 8272]

希水酸化ナトリウム試液 水酸化ナトリウム試液，希を見よ。

キナルジンレッド $C_{21}H_{23}IN_2$ 本品は，結晶性の粉末でエタノールに溶けやすい。本品のメタノール溶液(0.005→1,000)は，526nm付近に極大吸収部がある。また，当該極大吸収部で吸光度を測定するとき，0.5以上である。

キナルジンレッド試液 キナルジンレッド0.1gを量り，酢酸100mlを加えて溶かす。用時調製する。

キノリン C_9H_7N ~~(特級)~~ [K 8279]

希メチレンブルー試液 メチレンブルー試液，希を見よ。

強塩基性陰イオン交換樹脂 陰イオン交換樹脂，強塩基性を見よ。

強酢酸第二銅試液 酢酸第二銅(II)試液, 強を見よ。

強酸性ホスホリル-架橋セルロース陽イオン交換体 P-架橋セルロース陽イオン交換体(-O・PO₃H₂型), 強酸性を見よ。

強酸性陽イオン交換樹脂 陽イオン交換樹脂, 強酸性を見よ。

強酸性陽イオン交換樹脂(微粒) 陽イオン交換樹脂, 強酸性(微粒)を見よ。

希硫酸 硫酸, 希を見よ。

5'-グアニル酸二ナトリウム $C_{10}H_{12}N_5Na_2O_8P \cdot 4 \sim 7H_2O$ 「5'-グアニル酸二ナトリウム」

クエン酸 クエン酸1水和物を見よ。

クエン酸1水和物 $H_3C_6H_5O_7 \cdot H_2O$ [クエン酸1水和物, K 8283]

クエン酸緩衝液 第1液:クエン酸21gを量り, 水を加えて溶かして1,000mlとする。

第2液:リン酸二ナトリウム28.4gを量り, 水を加えて溶かして1,000mlとする。

第1液11容量と第2液389容量とを混和する。

クエン酸緩衝液(pH2.2) クエン酸ナトリウム1.4g, クエン酸13g及び塩化ナトリウム10.9gを量り, 合わせ, 水を加えて溶かし, 1,000mlとする。

クエン酸緩衝液(pH3.0) 第1液:クエン酸21gを量り, 水を加えて溶かし, 1,000mlとする。

第2液:リン酸二ナトリウム71.6gを量り, 水を加えて溶かし, 1,000mlとする。

第1液159容量と第2液41容量とを混和する。

クエン酸緩衝液(pH5.0) 第1液:クエン酸21gを量り, 水を加えて溶かし, 1,000mlとする。

第2液:リン酸二ナトリウム71.6gを量り, 水を加えて溶かし, 1,000mlとする。

第1液97容量と第2液103容量とを混和する。

クエン酸緩衝液(pH5.28) クエン酸ナトリウム34.3gを量り, 水400mlを加えて溶かし, 塩酸7.5ml, ベンジルアルコール5ml及び水を加えて1,000mlとした後, 塩酸(1→4)又は水酸化ナトリウム溶液(1→25)でpH~~4~~5.28±0.03に調整する。

クエン酸三ナトリウム ~~$Na_3C_6H_5O_7 \cdot 2H_2O$ (クエン酸三ナトリウム二水和物, 特級)~~ クエン酸三ナトリウム2水和物を見よ。

クエン酸三ナトリウム2水和物 $Na_3C_6H_5O_7 \cdot 2H_2O$ [クエン酸三ナトリウム二水和物, K 8288]

クエン酸銅試液, アルカリ性 クエン酸ナトリウム173g及び炭酸ナトリウム117gを量り, 水100mlを加え, 加熱して溶かし, 必要があればろ過する。この液を, あらかじめ硫酸銅17.3gを量り, 水700mlを加えて溶かした液にかき混ぜながら徐々に加えた後, 冷却し, 水を加えて1,000mlとする。

クエン酸ナトリウム クエン酸三ナトリウムを見よ。

クエン酸用プロモフェノールブルー試液 プロモフェノールブルー試液, クエン酸用を見よ。

クペロン $C_6H_9N_3O_2$ ~~(特級)~~ [K 8289]

クペロン試液 クペロン6gを量り, 水を加えて溶かし, 100mlとする。用時調製する。

クリスタルバイオレット $C_{25}H_{30}ClN_3 \cdot 9H_2O$ ~~(1級)~~ [K 8294]

クリスタルバイオレット・酢酸試液 クリスタルバイオレット50mgを量り、酢酸100mlを加えて溶かす。

グリセリン $CH_2(OH)CH(OH)CH_2OH$ ~~(特級)~~ [K 8295]

グリセリン用過ヨウ素酸ナトリウム試液 過ヨウ素酸ナトリウム試液、グリセリン用を見よ。

~~L-グルタミン酸ナトリウム $C_5H_8NNaO_4 \cdot H_2O$ [L-グルタミン酸ナトリウム]~~

~~L-グルタミン酸ナトリウム 1水和物を見よ。~~

~~L-グルタミン酸ナトリウム 1水和物 $C_5H_8NNaO_4 \cdot H_2O$ [L-グルタミン酸ナトリウム]~~

~~p-クレシジン 2-メトキシ-5-メチルアニリンを見よ。 $C_8H_{11}NO$ (2-メトキシ-5-メチルアニリン) 本品は、白色～灰色の結晶性の粉末で、水に溶けにくく、メタノール及びエタノールに溶ける。~~

~~融点 $47 \sim 54^\circ C$~~

~~確認試験 (1) 本品をメタノール/0.01mol/l酢酸アンモニウム混液(1:1)を加えて溶解した液は、波長200nm付近に極大吸収部がある。~~

~~(2) 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、 3.410×10^{-4} 、 2.950×10^{-4} 、 1.630×10^{-4} 、 1.520×10^{-4} 、 1.230×10^{-4} 、 1.030×10^{-4} 及び780 $\times 10^{-4}$ のそれぞれの付近に吸収帯を認める。~~

クレシジンアゾシェファー塩色素 $C_{18}H_{15}N_2NaO_5S$ 本品は、6-ヒドロキシ-5-(2-メトキシ-5-メチルフェニルアゾ)-2-ナフタレンスルホン酸一ナトリウム塩で、赤色の粉末である。

比吸光度 $E_{1cm}^{1\%}$ (500nm付近の極大吸収部) = 597以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g(0.0mg)を量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとした液は、波長498～502nmに極大吸収部がある。

純度試験 他の色素 A液1.0mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(7.7→1,000)を加えて正確に100mlとする。この液20 μ mlを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用赤色40号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、クレシジンアゾシェファー塩色素のピーク以外を認めない。

クレシジンスルホン酸アゾG塩色素 $C_{18}H_{13}N_2Na_3O_{11}S_3$ 本品は7-ヒドロキシ-8-(2-メトキシ-5-メチル-4-スルホフェニルアゾ)-1,3-ナフタレンジスルホン酸三ナトリウム塩で、だいたい赤色の粉末である。

比吸光度 $E_{1cm}^{1\%}$ (500nm付近の極大吸収部) = 461以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g(0.0mg)を量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これ

をA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液（3→2,000）を加えて正確に100mlとした液は、波長498～502nmに極大吸収部がある。

純度試験 他の色素 A液1.0mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液（7.7→1,000）を加えて正確に100mlとする。この液20 μ lを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用赤色40号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、クレシジンスルホン酸アゾG塩色素のピーク以外を認めない。

クレシジンスルホン酸アゾR塩色素 $C_{18}H_{13}N_2Na_3O_{11}S_3$ 本品は、3-ヒドロキシ-4-(2-メトキシ-5-メチル-4-スルホフェニルアゾ)-2,7-ナフタレンジスルホン酸三ナトリウム塩で、赤褐色の粉末である。

比吸光度 $E_{1cm}^{1\%}$ (515nm付近の極大吸収部) = 494以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g~~10.0mg~~を量り、酢酸アンモニウム溶液（3→2,000）を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液（3→2,000）を加えて正確に100mlとした液は、波長513～517nmに極大吸収部がある。

純度試験 他の色素 A液1.0mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液（7.7→1,000）を加えて正確に100mlとする。この液20 μ lを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用赤色40号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、クレシジンスルホン酸アゾR塩色素のピーク以外を認めない。

クレシジンスルホン酸アゾ β -ナフトール色素 $C_{18}H_{15}N_2NaO_5S$ 本品は、4-(2-ヒドロキシ-1-ナフチルアゾ)-5-メトキシ-2-メチルベンゼンスルホン酸一ナトリウム塩で、赤褐色の粉末である。

比吸光度 $E_{1cm}^{1\%}$ (501nm付近の極大吸収部) = 644以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g~~10.0mg~~を量り、メタノール5mlを加えて溶かし、酢酸アンモニウム溶液（3→2,000）を加えて正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液（3→2,000）を加えて正確に100mlとした液は、波長499～503nmに極大吸収部がある。

純度試験 他の色素 A液1.0mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液（7.7→1,000）を加えて正確に100mlとする。この液20 μ lを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用赤色40号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、クレシジンスルホン酸アゾ β -ナフトール色素のピーク以外を認めない。

o-クレゾール $CH_3C_6H_4OH$ [K 8304]

p-クレゾール $CH_3C_6H_4OH$ [K 8306]

クレゾールレッド $C_{21}H_{18}O_5S$ ~~(特級)~~ [K 8308]

クレゾールレッド・チモールブルー試液 クレゾールレッド0.1g及びチモールブルー0.3gを量り、合わせ、エタノール100mlを加えて溶かし、更に水を加えて400mlとする。必要があればろ過する。

クロマトグラフィー用ケイソウ土 ケイソウ土，クロマトグラフィー用を見よ。

クロム酸カリウム K_2CrO_4 ~~(特級)~~ [K 8312]

クロモトローブ酸 ~~クロモトローブ酸二ナトリウム 2水和物を見よ。 $C_{10}H_6Na_2O_8S_2 \cdot 2H_2O$ [クロモトローブ酸二ナトリウム (2水和物)] (クロモトローブ酸二ナトリウム)，特級]~~

クロモトローブ酸試液 クロモトローブ酸0.5gを量り，硫酸(10→15)を加え50mlとし，振り混ぜ，遠心分離し，上澄液を用いる。用時調製する。

クロモトローブ酸二ナトリウム クロモトローブ酸二ナトリウム 2水和物を見よ。

クロモトローブ酸二ナトリウム 2水和物 $C_{10}H_6Na_2O_8S_2 \cdot 2H_2O$ [クロモトローブ酸二ナトリウム 2水和物，K S316]

クロラミンT ~~$C_7H_7ClNaO_2S \cdot 3H_2O$ [p-トルエンスルホンクロロアミドナトリウム 3水和物 (クロラミンT)，特級] p-トルエンスルホンクロロアミドナトリウム 3水和物を見よ。~~

クロラミンT試液 クロラミンT1.25gを量り，水を加えて溶かし，100mlとする。用時調製する。

クロラムフェニコール $C_{11}H_{12}Cl_2N_2O_5$ 日本薬局方クロラムフェニコールを用いる。

クロロホルム $CHCl_3$ ~~(特級)~~ [K 8322]

クロロホルム，エタノール不含 $CHCl_3$ クロロホルム20mlを量り，水20mlを加えて3分間穏やかによく振り混ぜた後，クロロホルム層を分取し，更に水20mlずつを加えて同様の操作を2回繰り返す。クロロホルム層を乾燥ろ紙でろ過し，無水硫酸ナトリウム5gを加えて5分間よく振り混ぜ，2時間放置した後，乾燥ろ紙でろ過する。

クロロホルム，無水 $CHCl_3$ クロロホルム20mlを量り，水20mlを加えて3分間穏やかによく振り混ぜた後，クロロホルム層を分取し，更に水20mlずつを加えて同様の操作を2回繰り返す。クロロホルム層を乾燥ろ紙でろ過し，新たに強熱した無水炭酸カリウム5gを加えて密栓し，遮光して一夜放置した後，乾燥ろ紙でろ過し，ろ液をなるべく遮光して蒸留する。

ケイソウ土，ガスクロマトグラフィー用 ケイソウ土を精製加工してガスクロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。

ケイソウ土，クロマトグラフィー用 白色～灰白色の上質のものを用いる。

~~ゲル型強酸性陽イオン交換樹脂 液体クロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。~~

~~ゲル型スルホン化ポリスチレン 液体クロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。~~

酵母エキス 適当な条件下で酵母 (*Saccharomyces*) の産出物のペプトンのような水溶性物質を澄清液とし，蒸発乾燥し，粉末としたもので，本品1gは原料酵母7.5g以上から得たものである。帯赤黄色～褐色の粉末で腐敗臭のない特異なおいがある。水に溶けて黄色～褐色の弱酸性の液となる。本品には特別に炭水化物を加えない。

純度試験 (1) 塩化物 5%以下 (NaClとして)

(2) 凝固性たん白質 本品の水溶液 (1→20) を沸騰するまで加熱するとき、沈殿を生じない。

乾燥減量 5%以下 (105°C, 恒量)

強熱残分 15%以下 (0.5g)

窒素含量 7.2~9.5% (105°C, 恒量, 乾燥後, 窒素定量法)

コハク酸ジエチレングリコールポリエステル ガスクロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。

コバルチ亜硝酸ナトリウム ~~ヘキサニトロコバルト(III)酸ナトリウムを見よ。Na₃[Co(NO₂)₆] [ヘキサニトロコバルト(III)酸ナトリウム(コバルチ亜硝酸ナトリウム), 特級]~~

コバルチ亜硝酸ナトリウム試液 コバルチ亜硝酸ナトリウム30gを量り, 水を加えて溶かし, 100mlとする。用時調製する。

再蒸留水 蒸留水を総硬質ガラス製の蒸留装置で蒸留する。

酢酸 CH₃COOH ~~(特級)~~ [K 8355]

酢酸, 希 酢酸6gを量り, 水を加えて100mlとする。

酢酸, 非水滴定用 酢酸1,000mlを量り, 三酸化クロム5gを加え, 一夜放置した後, ろ過して蒸留し, 115°C以上の留分に無水酢酸20gを加え, 再蒸留し, 117~118°Cで定沸点になった留分を採るとる。

酢酸亜鉛 酢酸亜鉛2水和物を見よ。

~~Zn(CH₃COO)₂·2H₂O [酢酸亜鉛(2水和物)(酢酸亜鉛), 特級]~~

酢酸亜鉛2水和物 Zn(CH₃COO)₂·2H₂O [酢酸亜鉛二水和物, K 8356]

酢酸アンモニウム CH₃COONH₄ ~~(特級)~~ [K 8359]

酢酸アンモニウム緩衝液 酢酸アンモニウム77gを量り, 酢酸10ml及び水を加えて溶かして1,000mlとする。

酢酸アンモニウム緩衝液 (pH3.0) 第1液: 酢酸アンモニウム10gを量り, 水を加えて溶かして100mlとする。

第2液: 酢酸31.0gに水を加えて100mlとする。

第1液と第2液とを混和し, 両液を用いてpH3.0に調整する。

酢酸イソアミル 酢酸-3-メチルブチルを見よ。

酢酸エチル CH₃COOC₂H₅ ~~(特級)~~ [K 8361]

酢酸カリウム CH₃COOK ~~(特級)~~ [K 8363]

酢酸カルシウム 酢酸カルシウム1水和物を見よ。

酢酸カルシウム1水和物 Ca(CH₃COO)₂·H₂O [酢酸カルシウム一水和物, K 8364]

酢酸緩衝液 無水酢酸ナトリウム82gを量り, 水140mlを加えて溶かし, 酢酸25ml及び水を加えて, 250mlとした後, 酢酸又は酢酸ナトリウム溶液 (2→15) でpH ~~を~~ 5.51±0.03に調整する。

酢酸緩衝液 (pH5.4) 第1液: 酢酸5.78mlに水を加えて, 1,000mlとする。

第2液: 無水酢酸ナトリウム8.5gを量り, 水を加えて溶かし, 1,000mlとする。

第1液176容量と第2液824容量とを混和し、必要があれば、更にいずれかの液を加えて、pH5.4に調製調整する。

酢酸水銀(II) $\text{Hg}(\text{CH}_3\text{COO})_2$ ~~(特級)~~ [K 8369]

酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液(pH4.5), 鉄試験用 酢酸75.4ml及び酢酸ナトリウム111gを水に溶かし、1,000mlとする。

酢酸第二水銀 酢酸水銀(II)を見よ。

酢酸第二水銀試液, 非水滴定用 酢酸水銀(II) 6gを量り、非水滴定用酢酸を加えて溶かして100mlとする。

酢酸第二銅 ~~酢酸銅(II)~~ 酢酸銅(II) 1水和物を見よ。

酢酸第二銅試液, 強 ~~酢酸銅(II)~~ 13.3gを量り、酢酸5ml及び水195mlを加えて溶かす。

酢酸銅(II) $\text{Cu}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$ ~~(酢酸銅一水和物, 特級)~~ 酢酸銅(II) 1水和物を見よ。

酢酸銅(II) 1水和物 $\text{Cu}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$ [酢酸銅(II)一水和物, K 8370]

酢酸銅(II) 試液, 強 酢酸銅(II) 13.3gを量り、酢酸5ml及び水195mlを加えて溶かす。

酢酸ナトリウム 酢酸ナトリウム3水和物を見よ。 ~~$\text{CH}_3\text{COONa} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$ (酢酸ナトリウム三水和物, 特級)~~

酢酸ナトリウム3水和物 $\text{CH}_3\text{COONa} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$ [酢酸ナトリウム三水和物, K 8371]

酢酸ナトリウム, 無水 CH_3COONa ~~(酢酸ナトリウム, 特級)~~ [K 8372]

酢酸鉛 酢酸鉛(II) 3水和物を見よ。 ~~$\text{Pb}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot 3\text{H}_2\text{O}$ (酢酸鉛(II)三水和物, 特級)~~

酢酸鉛(II) 3水和物 $\text{Pb}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot 3\text{H}_2\text{O}$ [酢酸鉛(II)三水和物, K 8374]

酢酸鉛試液 酢酸鉛11.8gを量り、水を加えて溶かして100mlとし、酢酸(1→4)2滴を加える。密栓して保存する。

酢酸鉛試液, 塩基性 酢酸鉛3g及び一酸化鉛1gを量り、水0.5mlを加え、すり混ぜて得た類黄色の混和物をビーカーに入れ、時計皿で覆い、水浴上で加熱する。内容物が均一な白～帯赤白色となったとき、熱湯9.5mlを少量ずつ加え、再び時計皿で覆い、放置した後、上澄液を傾斜して採取し、水を加えてその比重 d_{25}^{25} を1.23～1.24とする。密栓して保存する。

酢酸ビニル $\text{CH}_3\text{COOCHCH}_2$ 本品は、無色の液体で、トルエンに溶ける。

屈折率 $n_D^{20} = 1.393 \sim 1.397$

酢酸マグネシウム ~~酢酸マグネシウム4水和物を見よ。~~ ~~$\text{Mg}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ (酢酸マグネシウム(4水和物), 特級)~~

酢酸マグネシウム4水和物 $(\text{CH}_3\text{COO})_2\text{Mg} \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ [酢酸マグネシウム(4水和物), K 8380:1978]

本品は無～白色の潮解性の結晶又は粉末である。

含量 99.0%～101.0%

確認試験 本品は酢酸塩及びマグネシウム塩の反応を呈する。

定量法 本品約0.5gを精密に量り、水100mlを加えて溶かし、アンモニア・塩化ア

シモニウム緩衝液 (pH10.7) 2 mlを加え、0.01mol/L EDTA溶液で滴定する (指示薬 エリオクロムブラックT試液 2滴)。終点は、液の赤色が青色に変わるときとする。

0.01mol/L EDTA溶液 1 ml = 21.47mg (CH₃COO)₂Mg·4H₂O

酢酸3-メチルブチル CH₃COOC₅H₁₁ ~~(特級)~~ [K 8358]

酢酸リチウム 酢酸リチウム2水和物を見よ。 ~~CH₃COOLi·2H₂O~~ 本品は、無色～白色の結晶で、水によく溶ける。

~~融点 70℃~~

~~溶状 無色、ほとんど澄明 (0.5g, 水10ml)~~

酢酸リチウム2水和物 CH₃COOLi·2H₂O 本品は、無～白色の結晶で、水によく溶ける。

融点 70℃

溶状 無色、ほとんど澄明 (0.5g, 水10ml)

酢酸リチウム緩衝液 酢酸リチウム40.8gを量り、水を加えて溶かして100mlとした後、水酸化ナトリウム溶液 (1→25) でpHを9に調整する。

サラシ粉 ~~(さらし粉、1級)~~ [K 8388:1961]

本品は白色又は類白色の粉末で塩素のにおいがする。

含量 本品は有効塩素として30%以上を含む。

定量法 「高度サラシ粉」の定量法を準用する。

冷暗所に保存する。

サリチルアルデヒド HOC₆H₄CHO ~~(特級)~~ [K 8390]

サリチル酸 HOC₆H₄COOH ~~(特級)~~ [K 8392]

サリチル酸・メタノール試液 サリチル酸10gを量り、水分測定用メタノール100mlを加えて溶かす。用時調製する。

サリチル酸メチル HOC₆H₄COOCH₃ ~~(1級)~~ [K 8398:1981]

本品は無色～微黄色の油状の物質で特異なにおいがある。

比重 1.182～1.192

三塩化アンチモン 塩化アンチモン(Ⅲ)を見よ。SbCl₃ ~~(特級)~~

三塩化アンチモン試液 無水クロロホルムで三塩化アンチモンの表面を洗い、洗液が透明となった後、三塩化アンチモンに無水クロロホルムを加えて飽和溶液とする。遮光した容器に密栓して冷所に保存する。用時調製する。

三塩化チタン溶液 ~~(1級)~~ [塩化チタン(Ⅲ)溶液、K 8401:1961]

本品は暗紫色の液体である。

含量 20%以上

確認試験 本品に10倍量の水を加え、過酸化水素試液を少量ずつ加えるとき、液の紫色は退色し、更に過酸化水素試液を加えるとき赤褐色を呈する。

定量法 本品約3gを精密に量り、酸素を含まない水250mlと塩酸(2—3)5mlを加えて炭酸ガス気流中で0.2mol/L 硫酸鉄(Ⅲ)アンモニウムで滴定する (指示薬 10%チオシアン酸アンモニウム溶液)

0.2mol/L 硫酸鉄(Ⅲ)アンモニウム 1 ml = 30.85mg TiCl₃

遮光した共栓瓶に保存する。

三塩化ヨウ素 ICl_3 ~~(〔三塩化よう素，特級〕K 8403)~~

三塩化リン PCl_3 ~~(特級)~~ ~~〔三塩化りん，K 8404:1962〕~~

本品は無色透明な液体で刺激性のにおいがある。空気中で発煙する。

留分 75～78°Cで95vol%以上を留出する。

酸化カルシウム CaO ~~(酸化カルシウム)~~ ~~(〔生石灰〕，特級K 8410)~~

酸化クロム Cr_2O_3 ~~(日本工業規格工業薬品1号)~~ ~~〔三酸化二クロム(酸化クロム)，1種，K 1401〕~~

酸化クロム(VI) CrO_3 ~~(特級)~~ ~~〔K 8434:1980〕~~

性状 本品は、暗赤紫色の潮解しやすい結晶又は塊である。

確認試験 本品の水溶液に酢酸鉛試液を加えるとき、黄色の沈殿を生じる。

純度試験 (1)溶状 澄明 (1.0g, 水10ml)

(2)アルカリ土金属 0.1% 以下

本品1.0gを三角フラスコにとり、水17ml、塩酸(1→3) 5ml、エタノール5mlを加え、乾留冷却器をつけて1時間加熱する。加熱後、エタノールを留去し、熱湯70ml及びアンモニア水(2→5) 7mlを加え、水浴上でアンモニア臭が無くなるまで加熱後、蒸発乾固する。残留物に熱湯30mlを加えてろ過し、ろ液をあらかじめ質量を量ってある蒸発皿に採る。ろ紙は、熱湯10mlずつで3回洗い、洗液はろ液と合わせる。水浴上で蒸発乾固し、硫酸0.5mlを加え、熱板上で蒸発、強熱した残分は1mg以下である。

酸化水銀(II)，黄色 HgO ~~(酸化水銀(II)(黄色)，特級)~~ ~~〔酸化水銀(II)(黄色)，K 8418〕~~

酸化第二水銀，黄色 酸化水銀(II)，黄色を見よ。

酸化鉛(II) PbO ~~(特級)~~ ~~〔K 8090〕~~

酸化バリウム BaO (乾燥用) 本品は、白色、黄白色又は灰白色の吸湿性の粉末である。

含量 本品は、酸化バリウム80.0%以上を含む。

確認試験 (1) 本品の水溶液はアルカリ性を呈する。

(2) 本品を塩酸酸性の水に溶かし、硫酸を加えるとき白色の沈殿を生じる。

(3) 本品は、炎色反応試験を行うとき、緑色を呈する。

純度試験 (1)硫酸塩 2.0% 以下

本品2.0gを正確に量り、熱水80ml及び塩酸3mlを加えて煮沸する。これに、硫酸(1→16) 15mlを加えて一夜放置後、水を加えて正確に100mlとする。この液、50mlをとり、蒸発乾固後強熱し、その質量を量るとき、その残分は0.020g以下である。

(2)炭酸バリウム 10.0%以下

定量法に従って試験を行い、次式によって求める。

$$\text{炭酸バリウム(BaCO}_3\text{)の含量} = \frac{0.09869 \times (B - A - C)}{\text{試料の採取量 (g)}} \times 100 (\%)$$

定量法 本品約 2 g を精密に量り、新たに煮沸して冷却した水 100 ml 及びフェノールフタレイン試液 2 滴を加え、1 mol/L 塩酸で滴定し、その滴定値を A (ml) とする。この溶液に、1 mol/L 塩酸 2.5 ~ 3 ml を加え、1 mol/L 塩酸の総量を B (ml) とする。約 5 分間静かに煮沸後冷却し、1 mol/L 水酸化ナトリウム溶液で滴定し、その滴定値を C ml とする。

A ml は BaO に相当する。

B ml - A ml - C ml は BaCO₃ に相当する。

$$P = \frac{153.36}{\text{試料の採取量(g)}} \times 100 - \text{BaCO}_3 (\%) \times \frac{0.07668 \times A (\text{ml})}{169.36}$$

$$D = \frac{0.09869 \times (B \text{ ml} - A \text{ ml} - C \text{ ml})}{\text{試料の採取量(g)}} \times 100$$

ただし P : 酸化バリウム (BaO) %

D : 炭酸バリウム (BaCO₃) %

酸化マグネシウム MgO ~~(特級)~~ [K 8432]

酸化モリブデン (III) MoO₃ ~~(特級)~~ [三酸化モリブデン, K 8436:1979]

三酸化クロム CrO₃ 酸化クロム (VI) を見よ。

三酸化二ヒ素 As₂O₃ ~~(特級)~~ [三酸化二ヒ素, 特級 K 8044]

三酸化二ヒ素 (標準試薬) As₂O₃ ~~(標準試薬)~~ [容量分析用標準物質, 酸化二ヒ素 (III), K 8005]

三酸化ヒ素 As₂O₃ 三酸化二ヒ素を見よ。

三酸化ヒ素 (標準試薬) 三酸化二ヒ素 (標準試薬) を見よ。

三酸化ヒ素試液 三酸化二ヒ素 1 g を量り、水酸化ナトリウム溶液 (1 → 40) 30 ml を加え、加熱して溶かし、冷後酢酸を徐々に加えて 100 ml とする。

三酸化モリブデン 酸化モリブデン (III) を見よ。

酸性塩化第一スズ試液 塩化第一スズ試液, 酸性を見よ。

酸性硫酸第一鉄試液 硫酸第一鉄試液, 酸性を見よ。

三フッ化ホウ素 BF₃ 本品は、無色の気体で、刺激性のにおいがある。

沸点 -100.3°C

融点 -127.1°C

三フッ化ホウ素・メタノール試液 三フッ化ホウ素を 14 g 量り、メタノールを加えて溶かして 100 ml とする。

4-4'-(ジアゾアミノ)ジベンゼンスルホン酸二ナトリウム C₁₂H₉N₃Na₂O₆S₂ 本品は、白~類白色の粉末である。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (358nm付近の極大吸収部) = 677以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g±0.0mgを量り、水酸化ナトリウム溶液(4→1,000)を加えて溶かし正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとし、吸光度を測定する。また、波長240nm及び358nmのそれぞれに吸収極大吸収部がある。

純度試験 他の芳香族化合物 A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20 μ lを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用黄色4号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、一つのピークのみを認める。

4,4'-ジアミノジフェニルアミン試液 4,4'-ジアミノジフェニルアミン硫酸塩に少量のエタノールを加えてよくすり混ぜ、更にエタノールを加え、還流冷却器を付けて水浴上で加熱し、飽和溶液とする。

4,4'-ジアミノジフェニルアミン硫酸塩 $C_{12}H_{13}N_3 \cdot H_2SO_4$ (特級) [K 8476:1962]

本品は、無～帯灰青色の結晶性の粉末である。

本品1gを希硫酸10mlに暖めながら溶かし、過剰のアンモニア水を加え、しばらく加熱したのを冷却するとき結晶を生じ、その融点 t は157～160 $^{\circ}C$ である。

シアン化カリウム KCN (特級) [K 8443]

ジエチルエーテル $C_2H_5OC_2H_5$ [K 8103]

ジエチルエーテル、ビタミンA測定用 ジエチルエーテルを蒸留し、初留10%及び残留分10%を捨てる。再蒸留水を対照にして吸光度を測定するとき、300～350nmで0.01以下である。

過酸化物質 本品5mlを量り、硫酸鉄(II)試液5ml及びチオシアン酸アンモニウム溶液(2→25)5mlを加えるとき、赤色を呈さない。

~~N,N-ジエチルジチオカルバミド銀 $C_6H_{10}AgNS_2$ (N,N-ジエチルジチオカルバミド酸銀)~~

~~ジエチルジチオカルバミン酸銀 N,N-ジエチルジチオカルバミド銀を見よ。~~

N,N-ジエチルジチオカルバミド酸銀 $C_5H_{10}AgNS$ [K 9512]

ジエチルジチオカルバミン酸銀 N,N-ジエチルジチオカルバミド酸銀を見よ。

ジエチルジチオカルバミン酸銀・キノリン試液 微粉末とした硝酸銀50mg±0.05gをキノリン100mlに溶かし、ジエチルジチオカルバミン酸銀0.2gを加える。用時調製する。

ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム N,N-ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム \cdot 3水和物を見よ。

N,N-ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム \cdot 3水和物 $(C_2H_5)_2NCS_2Na \cdot 3H_2O$ (特級) [N,N-ジエチルジチオカルバミド酸ナトリウム \cdot 3水和物 K 8454]

四塩化炭素 CCl_4 (特級) [K 8459]

ジオキサン $C_4H_8O_2$ 1,4-ジオキサンを見よ。

1,4-ジオキサン $C_4H_8O_2$ (特級) [K 8461]

紫外吸収スペクトル測定用ジメチルスルホキシド ジメチルスルホキシド、紫外吸収スペクトル測定用を見よ。

紫外吸収スペクトル測定用 ~~n~~-ヘキサン ~~n~~-ヘキサン, 紫外吸収スペクトル測定用を見よ。

ジギトニン $C_{56}H_{92}O_{29}$ (~~特級~~) [K 8452]

β -シクロデキストリン, 定量用 $C_{42}H_{70}O_{35}$ 本品は, 白色の結晶または結晶性の粉末で, においがなく, わずかに甘味がある。

~~含量 本品を乾燥したものは, β -シクロデキストリン ($C_{42}H_{70}O_{35}$) 99.0% 以上を含む。~~

確認試験 本品0.2gにヨウ素試液2mlを加え, 水浴中で加温して溶かした後, 室温に放置するとき, 黄褐色の沈殿を生じる。

純度試験(1) 比旋光度 $[\alpha]_D^{20} = +160 \sim +164^\circ$

本品を乾燥し, その約1gを精密に量り, 水を加えて正確に100mlとし, 旋光度を測定する。

(2) 類縁物質 本品約1.5gをとり, 水を加えて溶かして100mlとし, 検液とする。

この液1mlを正確に量り, 水を加えて正確に100mlとし, 比較液とする。検液及び比較液20~100 μ lにつき, 次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い, ピーク面積を測定するとき, 検液の主ピーク以外のピークの合計面積は, 比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし, 面積測定範囲は, 主ピークの保持時間の2倍までとする。

~~定量法 本品約1.5gをとり, 水を加えて溶かして100mlとし, 検液とする。検液20~100 μ lにつき, 次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い, ピーク面積を自動積分法により測定する。~~

~~検液の β -シクロデキストリンのピーク面積~~

~~β -シクロデキストリンの量 (%) = $\frac{\text{検液のピーク面積}}{\text{総ピーク面積}} \times 100$~~

~~総ピーク面積~~

操作条件

検出器 示差屈折計

カラム 内径10mm, 長さ20~50cmのステンレス管

カラム充てん剤 ~~スチレン及びジビニルベンゼンの共重合体にスルホン酸基を結合させた液体クロマトグラフィー用強酸性陽イオン交換樹脂~~

カラム温度: 65 \pm 10 $^\circ$ Cの一定温度

移動相 水

流量 0.3~1.0ml/分

乾燥減量 14.0%以下 (1.0g, 105 $^\circ$ C, 0.67kPa, 4時間)

シクロヘキサン C_6H_{12} (~~特級~~) [K 8464]

2,6-ジクロロキノクロロイミド $C_6H_2Cl_3NO$

融点 65~67 $^\circ$ C

溶状 澄明 (0.10g, エタノール10ml)

強熱残分 0.2%以下

2,6-ジクロロフェノールインドフェノールナトリウム 2,6-ジクロロフェノールインドフェノールナトリウム2水和物を見よ。 ~~$C_{12}H_6Cl_2 \cdot 2NaO_2 \cdot nH_2O$~~

~~〔2,6-ジクロロインドフェノールナトリウム(水和物) (2,6-ジクロロフェノール
インドフェノールナトリウム)〕, 特級)~~

2,6-ジクロロフェノールインドフェノールナトリウム 2水和物 $C_{12}H_6Cl_2NNaO_2 \cdot$
 $2H_2O$ 〔2,6-ジクロロフェノールインドフェノールナトリウム 2水和物, K 8469〕

2,6-ジクロロフェノールインドフェノールナトリウム試液 2,6-ジクロロフェノール
インドフェノールナトリウム0.1gを量り, 水100mlを加え, 加温した後, ろ過
する。褐色瓶に保存, 3日以内に使用する。

四シュウ酸カリウム, pH測定用 ニシュウ酸三水素カリウム \equiv 2水和物, pH測定
用を見よ。

L-システイン塩酸塩 L-システイン塩酸塩 1水和物を見よ。〔L-システイン塩酸
塩 1水和物, 特級〕

L-システイン塩酸塩 1水和物 $C_2H_7NO_2S \cdot HCl$ 〔L-システイン塩酸塩 1水和物,
K 8470〕

システイン・硫酸試液 L-システイン塩酸塩 0.30gを量り, 水10mlを加えて溶かす。
この液0.5mlに86vol%硫酸水溶液25mlを加えて混和する。用時調製する。

ジチゾン $C_{13}H_{12}N_4S$ 〔ジチゾン(ジフェニルチオカルバジン)〕, 特級〔K 8490〕
ジチゾン試液, 亜鉛用 ジチゾン0.01gを量り, クロロホルム100mlを加えて溶かす。
着色した共栓瓶に保存する

シトリニン $C_{13}H_{14}O_3$ 本品は, 黄色の結晶で, においはない。水に極めて溶けや
すい。

~~含量 本品を乾燥したものは, シトリニン($C_{13}H_{14}O_3$) 99.0%以上を含む。~~

確認試験 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測
定するとき, $1,634cm^{-1}$, $1,492cm^{-1}$, $1,266cm^{-1}$, $1,018cm^{-1}$, $818cm^{-1}$
のそれぞれの付近に吸収帯を認める。

純度試験 類縁物質 本品約10gを精密に量り, メタノールを加えて溶かして正
確に100mlとし, 検液とする。この液1mlを正確に量りメタノールを加えて
正確に100mlとし, 比較液とする。検液及び比較液5 μ lにつき, 次の操作条
件で液体クロマトグラフィーを行い, ピーク面積を測定するとき, 検液の主
ピーク及びメタノール以外のピークの合計面積は, 比較液の主ピーク面積よ
り大きくない。

定量法 本品約10gを精密に量り, メタノールを加えて溶かして正確に100ml
とし, 検液とする。検液及びメタノールそれぞれ5 μ lずつを量り, それぞ
れの液につき, 次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行う。ピーク面積
を自動積分法により測定し, 次式により含量を求める。

検液10 μ l中のシトリニンのピーク面積

シトリニン($C_{13}H_{14}O_3$)の含量 = $\frac{\text{検液10 } \mu\text{l中のシトリニンのピーク面積}}{\text{総ピーク面積(メタノールを除く)}} \times 100 (\%)$

~~総ピーク面積(メタノールを除く)~~

操作条件

検出器 蛍光検出器 (励起波長 330nm, 蛍光波長 500nm)

カラム充てん剤 5 μ mの化学結合型オクタデシルシリラン液体クロマトグラフ

イー用オクタデシルシリル化シリカゲル

カラム 内径3.9~4.6mm, 長さ25~30cmのステンレス管

カラム温度 30℃

移動相 アセトニトリル/水/トリフルオロ酢酸混液 (100:100:0.1)

流速流量 1.0ml/分

3,5-ジニトロ塩化ベンゾイル $(\text{NO}_2)_2\text{C}_6\text{H}_3\text{COCl}$ ~~(特級)~~ [K 8477:1961] 本品はわずかに黄色みを帯びた結晶性の粉末である。

融点 67~69℃

強熱残分 0.10%以下

2,4-ジニトロクロロベンゼン $\text{C}_6\text{H}_3(\text{NO}_2)_2\text{Cl}$ ~~(特級)~~ [1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン, K 8478]

2,4-ジニトロフェニルヒドラジン $\text{C}_6\text{H}_3\text{N}_4\text{O}_4$ ~~(特級)~~ [K 8480]

2,4-ジニトロフェニルヒドラジン塩酸塩試液 100mlの三角フラスコに塩酸10mlを入れ, 2,4-ジニトロフェニルヒドラジン5gを加え, 遊離塩基(赤色)が塩酸塩(黄色)に変換するまで静かに振り混ぜ, エタノール100mlを加え, 水浴上で加熱溶解する。放冷し, 室温で結晶化させた後, ろ過し, ジエチルエーテルで洗う。室温で乾燥した後, デシケーター中に保管し, 2,4-ジニトロフェニルヒドラジン塩酸塩試薬とする。保管中に塩酸塩が徐々に遊離塩基に変換するが, 遊離塩基は, 1,2-ジメトキシエタンで洗浄することにより, 除去することができる。5%メタノール含有1,2-ジメトキシエタン15mlに2,4-ジニトロフェニルヒドラジン塩酸塩試薬0.5gを加えて溶かし, 冷蔵庫に保管する。

1,3-ジヒドロキシナフタレン $\text{C}_{10}\text{H}_6(\text{OH})_2$ 本品は, 赤褐色の結晶又は灰~灰褐色の粉末で, 水, エタノール又はジエチルエーテルに溶けやすい。

α, α' -ジピリジル 2,2'-ビピリジルを見よ, $(\text{C}_5\text{H}_4\text{N})_2$ ~~(2,2'-ビピリジル(α,α'-ジピリジル), 特級)~~

ジフェニル ビフェニルを見よ。

ジフェニルアミン $(\text{C}_6\text{H}_5)_2\text{NH}$ ~~(特級)~~ [K 8487]

ジフェニルアミン試液 ジフェニルアミン1gを量り, 硫酸100mlを加えて溶かす。本液は, 無色である。

ジブチルヒドロキシルエン $\text{C}_{15}\text{H}_{24}\text{O}$ 「ジブチルヒドロキシルエン」

2,6-ジブromoキノクロロイミド $\text{C}_6\text{H}_2\text{Br}_2\text{ClNO}$ ~~(2,6-ジブromo-N-クロロ-p-ベンゾキノロンモノイミン(2,6-ジブromoキノクロロイミド), 特級)~~ 2,6-ジブromo-N-クロロ-p-ベンゾキノロンモノイミンを見よ。

2,6-ジブromo-N-クロロ-p-ベンゾキノロンモノイミン $\text{C}_6\text{H}_2\text{Br}_2\text{ClNO}$ [K 8491]

四ホウ酸ナトリウム10水和物 $\text{Na}_2\text{B}_4\text{O}_7 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$ [四ほう酸ナトリウム十水和物, K 8866]

四ホウ酸ナトリウム10水和物, pH測定用 $\text{Na}_2\text{B}_4\text{O}_7 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$ [四ほう酸ナトリウム十水和物, pH標準液用, K 8866]

四ホウ酸ナトリウム, pH測定用 $\text{Na}_2\text{B}_4\text{O}_7 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$ ~~(四ほう酸ナトリウム, pH測定用)~~